

事業所名

遊び研究所 ねじねじ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		個性、尊厳を尊重し、児童にとって最適な環境で社会的自立・生活的自立の実現を目指します。児童が自己肯定感を高め、安心して健やかに過ごせる場所を提供することに努めます。					
支援方針		一、児童の安全と安心を最優先に考え、心身ともに健やかに成長できる環境を提供します。 二、保護者と協力し、家庭と連携した支援を行い、日常の困りごとをともに解決していきます。 三、1人ひとりの発達段階に応じた適切な支援を行い、個々の能力を最大限に伸ばせるよう努めます。					
営業時間		10時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容							
本人支援	健康・生活	健康状態の常なるチェックと必要な対応を行います。利用者様の障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察を行います。また、日常生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行います。					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図るとともに視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援していきます。					
	認知・行動	視覚、聴覚、視覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行います。また、環境から情報を取得しそこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。					
	言語コミュニケーション	ねじねじが最も大切にしている領域です。「聞く事ができなければ、話すことはできません」という考えに基づき、まずは「聞く力」や「伝えたい気持ち」を丁寧に育てます。言葉の獲得だけでなく、表情や身振りも交えた豊かな表現力を引き出し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。また、文字や絵カード等のコミュニケーションを活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。					
	人間関係社会性	人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。また、役割分担やルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、社会性の発達を支援します。					
家族支援		日常でのお困りごとの相談や、児童の成長にともなった事例の共有や支援の方法をおひとりで抱えないようなサポートをしていきます。			移行支援	学校の生活の中でお友達・集団での地震の立ち位置に課題と訓練の方針を見出し支援していきます。	
地域支援・地域連携		特別支援教育を提供する学校や教育機関と連携し、障害児の教育的ニーズに応じた支援を行います。また、一般の学校へのインクルージョン（包容）を推進します。			職員の質の向上	経験や職種に応じた研修の参加を促したり、定期的に行い、支援スキル向上の機会をつくっていきます。	
主な行事等		地域社会の一員として活動に参加できるよう、季節行事の開催や地域のイベントに参加し、社会とのつながりを深める機会を提供します。					